

平成 24 年度第 2 回青森市子ども委員会議開催概要

1. 日時 平成 24 年 4 月 21 日（土） 9 時 15 分～12 時 15 分
2. 場所 青森市福祉増進センター（しあわせプラザ）3 階 大会議室
3. 出席者 平成 24 年度青森市子ども委員会議委員 27 名（欠席者 5 名）
子ども委員サポーター 6 名
事務局 3 名
4. 活動内容 (1)子どもの権利についての学習会②(講師:青森市保育連合会会長 佐藤秀樹氏)
(2)「青森市子どもの権利に関する子ども・大人の実態把握調査」の結果から見えてくるものについて
5. 開催概要

子どもの権利についての学習会②

「子どもの権利条約」について、ユニセフ（国際連合児童基金）が子ども向けに分かりやすく訳した「ユニセフ抄訳」と、青森市の西千刈町こども会が 1993 年に独自に訳した「ちびすけランド共和国・訳『子どもの権利条約』」を使いながら、条約に定めている条文 1 つ 1 つの意味について学びました。



※ 「子どもの権利条約ユニセフ抄訳」と「ちびすけランド共和国・訳『子どもの権利条約』」については、添付ファイルをご覧ください。

「青森市子どもの権利に関する子ども・大人の実態把握調査」の結果から見えてくるものについて

「子どもの権利条例」をつくるにあたり、子どもの現状や思い、大人に対する子どもの意識、また、子どもに対する大人の意識、子どもと大人の認識の違いなどを把握することを目的に、市内の小・中・高及び特別支援学校の児童生徒やその保護者、公共施設利用者や大学生などを対象に、今年 2 月に「青森市子どもの権利に関する子ども・大人の実態把握調査」を実施しましたが、その調査結果から見えてくるものについて、報告書をもとに説明しました。

（説明した内容の 1 部分を次ページで紹介します。）

【問】あなた（子ども）が、今、打ち込んでいることや、やりがいを感じていること

◎友だちとの遊びや活動	49.4%
◎学校のクラブ活動・部活動	47.1%
◎学校の勉強	34.7%
◎特にない	6.8%

この調査から、友だちと遊んだり学校での活動などで充実感を得ている子どもが半数近くいる反面、「特にない」という子どももいるということがわかりました。

【問】あなた（子ども）は、自分のことが好きですか

◎そう思う	15.3%
◎まあそう思う	29.7%
◎あまりそう思わない	29.5%
◎そう思わない	24.8%

この調査から、自分を否定的に捉えている子どもが、全体の半数以上いることがわかりました。

【問】あなた（子ども）は、誰かのために何かをしてあげたいと思いますか

◎そう思う	59.5%
◎まあそう思う	28.1%
◎あまりそう思わない	8.3%
◎そう思わない	3.5%

【問】あなた（子ども）は、社会に役立つことをしたいと思いますか

◎そう思う	52.9%
◎まあそう思う	31.4%
◎あまりそう思わない	9.5%
◎そう思わない	5.8%

これらの調査から、思いやりや助け合いのこころを持っている子どもが多数いることがわかりました。

※ 「青森市子どもの権利に関する子ども・大人の実態把握調査報告書」については、添付ファイルをご覧ください。

このほか、委員の皆さんには、課題として、「日ごろ、おかしいと感じることや納得いかないこと」を次回までに考えてきてもらうようお願いしました。

この意見は、今後、子どもの権利条例に子どもたちの思いなどを反映していくための材料として活用していくこととしています。

日ごろ、おかしいと感じることや 納得いかないこと《疑問点》

《疑問点》

《どうあるべきか・どうしたらよいか》